

テレビアン E-11 號受信機

山中電機株式會社 第一事業部

肉聲を聴く

一般大衆の聴覺がリファインされ、藝術價值の高い音楽が普及して來た今日では、ラジオ受信機に對しても音質が良く、肉聲が聴かれるものと云ふ事が重要條件となつて來たことは慶ぶべき傾向だと思ひます。

従つてスピーカーもマグネチックからダイナミックへと進歩して參りましたが、何と云つてもダイナミック受信機はこれを動作せしむる爲の大型出力管及び整流管を始として電源變壓器、其他の部分品が相當高價となることは避け得られぬために、一般向としては稍難點があり、ダイナミック受信機の普及も遅々たるものがあつた譯です。

考へて見ますのに從來のダイナミック受信機は我が國の一般家庭用としては、音量が少々大き過ぎるものでして、音質が良ければとて、そんなに大聲の必要はありませんから、もつと安價な、小型出力管を用ゐても良いこととなります。

さて、今迄マグネチック受信機用として盛に使用されて居た小型出力管 UY-47 B は陽極電壓も 150 V 位で使用して居たのですが、そもそもこの真空管の能力はもつと高いものであるにも不拘、整流管に適當のものがなかつた爲に、切角ある力を使ひ切れずに居た譯です。

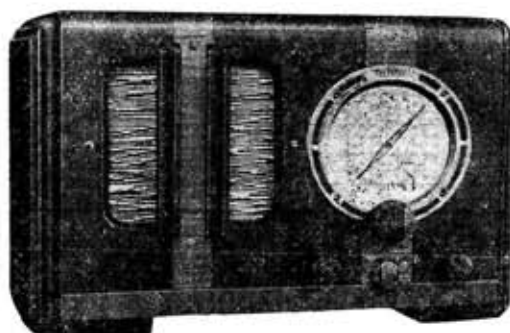
試作品とか、ア・チューアの組立てるものなれば 80 B でも結構でせうが、市場に賣出す製品としては跋行的なものとなり、KX-12 B では陽極電壓及び電流が不足であつたので、KX-12 F の出現を促し、こゝに家庭向ダイナミック受信機の普及型が生まれたわけでありませう。

種々の情勢から見て、今年は益々ダイナミック受信

機の普及を見ることと確信して居ります。

昨年、弊社が他に率先して、このダイナミック普及型の先鞭をつけたことは、皆様の御記憶に未だ新たなものがあると思ひます。

其の後、性能を益々高く、使用材料を再吟味し、外觀も 2599 年型としての新味を持ち、豪華で上品に設計し、且つ普及的の價格を維持する事に研究の重點において改良した E-11 號を本年度受信機界の寵兒として御紹介申上ます。

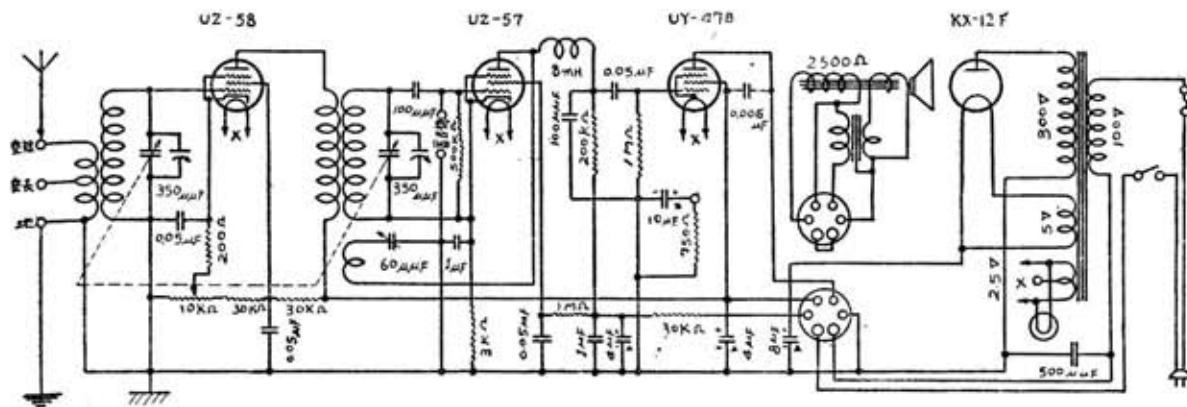


真中上ツマミ 同調調節器
下左より 感度調節器、電源スイッチ、再生調節器

第 1 圖 外 觀

規 格

1. 受信周波數帯 550~1,500 kc
2. 感 度 階 級 微電界級
3. 真 空 管 UZ 58 高周波増幅
UZ 57 檢 波
UY 47 B 低周波増幅
UX 12 F 半波整流
4. 電 源 1 次側 90~100 V 0.4 A
(50~60~)Ac
二次側 B 300 V 60 mA DC
5. 高 聲 器 テレビアン D 6 號ダイナミック
スピーカー
フィールドコイル 2,500 Ω
直 流 抵 抗



第2圖 テレビアン E-11 號受信機回路接続圖

口 徑 16.5 cm

無歪最大出力 500 mW

機 構 概 要

受信機は機械であると同時に、楽器でもあり、家具でもあるのですから、外觀は上品で、好感が持てゝ丈夫であることを要し、本機は以上の諸条件を具備して居ります。(第1圖寫眞参照)ダイヤルは人間で云へば顔或は眼に相當するものですから、大きく美しく又スッキリとし、同調が楽に出来る様設計しました。直徑110耗で國産受信機としては珍しく思ひきつて大型に致しました。目盛は二重にし、外側上部には周波数をkcで、下側には波長を目盛り、内側は一般向に、直線目盛と致しました。

動作のスムーズな事は云ふ迄もありません。

調整用ツマミはキャビネット前面右側に4箇を配置してあり、ダイヤルのエスカッション下側に同調用ツマミをつけ、その下側に並んで居る3箇のツマミは向つて左から感度調節、中央は電源スイッチ、右側は再生調節用となつて居ります。

本機の結線方式は第2圖の配線圖の通りで、UZ-58のバイアス用コンデンサーは0.05μF、抵抗器は200Ωの固定抵抗の他端を10kΩの可變抵抗器のスライダに接続し、SGにはB+より30kΩを通し、30

kΩと可變抵抗器の10kΩとで分壓して居ります。

検波回路ではプレート用負荷抵抗は200kΩで、SGは1MΩ、バイパスは0.05μF、グリッドコンデンサーは100μFのマイカドンを、グリッド・リークは500kΩで、ピク・アップを使用するため3kΩと1μFでグリッド偏容電壓を與へて居ります。

UY-47Bのバイアスには、750Ωの抵抗と50V 10μFの電解コンデンサーを用ひ、平滑回路はコンデンサーインプットで、最大使用電圧400V 8μFの電解コンデンサーを用ひ、検波管のプレート負荷抵抗及びSGの電壓降下用抵抗には300kΩの抵抗を通じて電壓を供給し、その接続點に400V 4μFの電解と1,000V 1μFの紙蓄電器とを並列に接続し、一方ダイナミックのフィールドを平滑用チョークの代用とし、出力側には400V 4μFの電解コンデンサーを用ひ、UY-47BのSGと高周波増幅管UZ-58のプレートとSGに供給する様に致してあります。

又電源スイッチを切らずに、受信機が動作状態のまま誤つてスピーカー・プラグを抜いても電源回路を切断して、整流回路の故障となるのを防ぐ様になつて居ります。

尙本機は、日本放送協會の認定品で、認定番號は第11123號であります。